



## 2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月13日

上場会社名 株式会社リグア 上場取引所 東  
 コード番号 7090 U R L <https://ligma.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川瀬 紀彦  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 半田 晴彦 TEL 06 (7777) 0159  
 半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 —  
 決算補足説明資料作成の有無：有  
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年中間期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	1,291	△14.7	△35	—	△58	—	△51	—
2025年3月期中間期	1,514	△5.8	△43	—	△61	—	△81	—

(注) 包括利益 2026年3月期中間期 △51百万円 (−%) 2025年3月期中間期 △81百万円 (−%)

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	△34.37	—
2025年3月期中間期	△54.91	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり中間純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり中間純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	2,794	272	9.8
2025年3月期	3,142	319	10.2

(参考) 自己資本 2026年3月期中間期 272百万円 2025年3月期 319百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 —	円 銭 0.00	円 銭 0.00
2026年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2026年3月期（予想）	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	2,361 ～2,416	△17.8 ～△15.9	△111 ～△143	— —	△148 ～△180	— —	△147 ～△178	— —

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

2026年3月期の連結業績予想については、レンジ形式により開示しております。なお、業績予想の修正については、本日（2025年11月13日）公表いたしました「特別利益の計上及び2026年3月期 通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) FPデザイン株式会社、除外 1社 (社名) 株式会社FPデザイン

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |    |
|----------------------|----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | ：無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | ：無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | ：無 |
| ④ 修正再表示              | ：無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期中間期	1,511,800株	2025年3月期	1,511,800株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	22,718株	2025年3月期	21,718株
③ 期中平均株式数（中間期）	2026年3月期中間期	1,488,899株	2025年3月期中間期	1,483,308株

※ 第2四半期（中間期）決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料及び決算説明内容の入手方法）

決算補足説明資料は、T D n e t で同日開示した後に当社ウェブサイトに掲載いたします。また、代表取締役社長による決算説明の動画を当社ウェブサイトにて配信する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	10
(セグメント情報等の注記)	10
(継続企業の前提に関する注記)	12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	12
(重要な後発事象)	12

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間（2025年4月1日から2025年9月30日まで）におけるわが国経済は、物価上昇の継続や米国の通商政策の影響が景気の下振れリスクとなっているものの、雇用・所得環境の改善や各種政策の効果により、緩やかな回復基調で推移しております。

このような状況の中、当社グループは「DESIGNING WELLNESS LIFE」というパーソナリティのもと、「人生から不安をなくし、生きるをサポートする。」企業グループとして、人生における2つの不安「からだ」の不安をなくすウェルネス事業と「おかげ」の不安をなくすファイナンシャル事業を展開しております、誰もが心から豊かで前向きになる“WellnessLife”が溢れる社会の実現を目指しております。

「からだ」を担うウェルネス事業では、当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」をはじめとしたIFMC. 製品を使用した新メニュー（血流改善プログラム等）の導入に積極的に取り組んでまいりました。

「おかげ」を担うファイナンシャル事業では、保険代理店、金融商品仲介業（IFA）、財務コンサルティング等の経営支援を軸とするゴールベース・アプローチに基づいた総合金融コンサルティングサービスの提供を行ってまいりました。なお、2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業（IFA）等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業（IFA）につきましては、2025年4月から7月までの営業展開となっております。

その結果、当中間連結会計期間の経営成績は売上高1,291,341千円（前年同中間期比14.7%減）、営業損失35,517千円（前年同中間期は43,948千円の営業損失）、経常損失58,416千円（前年同中間期は61,313千円の経常損失）、親会社株主に帰属する中間純損失51,166千円（前年同中間期は81,446千円の親会社株主に帰属する中間純損失）となりました。

セグメントの経営成績は次のとおりであります。

#### ＜ウェルネス事業＞

ソフトウェアは、接骨院向けシステムの販売を行っております。前年に「Ligoo POS & CRM」及び「レセONE」の事業譲渡を行った影響を受け、売上高は113,919千円（前年同中間期比11.1%減）となりました。

機材・消耗品は、接骨院での自費施術メニューの拡大をする為の機材及び機材に付属する消耗品を販売しております。主要機材の販売が好調に推移した結果、売上高は186,433千円（前年同中間期比72.4%増）となりました。

コンサルティングは、接骨院の幹部または幹部候補者向けの研修及び新規利用者の獲得を目的としたWebコンサルティングを行っております。コンサルティング契約の増加及びM&A仲介手数料売上が発生したこと等により、売上高は226,731千円（前年同中間期比27.1%増）となりました。

請求代行は、接骨院等における事務負担の軽減を目的とした療養費請求代行サービスを展開しております。療養費早期支払サービスの貸付残高が減少しましたが、新規顧客開拓により会員数が増加したことにより、売上高は195,149千円（前年同中間期比1.6%増）となりました。

健康サポートでは、IFMC. 技術を用いた当社のヘルスケアブランド「Dr. Supporter」「My. Supporter」「SLEEPINSTANT」を販売しております。IFMC. 導入院数は増加したものの、導入院からの追加受注が減少した結果、売上高は228,919千円（前年同中間期比33.5%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は951,153千円（前年同中間期比0.0%増）、粗利率の高い商品の販売が伸びたことにより、営業利益は32,742千円（前年同中間期比407.0%増）となりました。

#### ＜ファイナンシャル事業＞

保険代理店は、ウェルネス事業を展開する当社グループ及び提携先からの紹介等により生命保険及び損害保険の募集活動を行いましたが、新規契約者数が前年を下回った結果、売上高は250,189千円（前年同中間期比1.4%減）となりました。

金融商品仲介業（IFA）は、2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業（IFA）等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、2025年4月から7月までの営業展開となっております。その結果、売上高は58,051千円（前年同中間期比76.4%減）となりました。

経営支援・手数料は、財務コンサルティングを行いました。前年に発生した紹介手数料売上が減少した結果、売上高は31,946千円（前年同中間期比50.2%減）となりました。

以上の結果、当中間連結会計期間の売上高は340,187千円（前年同中間期比39.6%減）、営業損失は68,259千円（前年同中間期は50,406千円の営業損失）となりました。

## (2) 当中間期の財政状態の概況

### ①資産、負債及び純資産の状況

#### 資産

当中間連結会計期間末の資産合計は2,794,135千円となり、前連結会計年度末と比べ348,063千円の減少となりました。

流动資産は2,454,488千円となり、前連結会計年度末と比べ280,130千円の減少となりました。これは主に売掛金が11,914千円増加したものの、現金及び預金が169,085千円、営業貸付金が17,965千円、商品が72,142千円減少したことによるものであります。

固定資産は339,647千円となり、前連結会計年度末と比べ67,933千円の減少となりました。これは主に、繰延税金資産が24,590千円、投資その他の資産のその他に含まれている長期前払費用が12,309千円減少したことによるものであります。

#### 負債

当中間連結会計期間末における負債合計は2,521,207千円となり、前連結会計年度末と比べ301,183千円の減少となりました。

流动負債は1,872,418千円となり、前連結会計年度末と比べ174,708千円の減少となりました。これは主に、預り金が66,423千円増加したものの、短期借入金が49,946千円、1年内返済予定の長期借入金が102,835千円、未払費用が79,490千円減少したことによるものであります。

固定負債は648,789千円となり、前連結会計年度末と比べ126,475千円の減少となりました。これは主に、長期借入金が127,027千円減少したことによるものであります。

#### 純資産

当中間連結会計期間末における純資産は272,928千円となり、前連結会計年度末と比べ46,879千円の減少となりました。これは、主に親会社株主に帰属する中間純損失を51,166千円計上したことによるものであります。

### ②キャッシュ・フローの状況

当中間連結会計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は1,150,880千円となり、前連結会計年度末と比べ170,886千円の減少となりました。当中間連結会計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### [営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動の結果、得られた資金は145,567千円（前年同中間期は104,910千円の収入）となりました。これは主に、子会社株式売却益59,460千円を計上したこと、売上債権の増加額34,367千円があったものの、棚卸資産の減少額72,144千円、未払金の増加額54,202千円、預り金の増加額72,030千円等によるものであります。

#### [投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動の結果、使用した資金は36,645千円（前年同中間期は188,057千円の収入）となりました。これは主に連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出34,530千円等によるものであります。

#### [財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動の結果、使用した資金は279,808千円（前年同中間期は35,188千円の収入）となりました。これは、主に長期借入れによる収入50,000千円があったものの、短期借入金の減少額49,946千円、長期借入金の返済による支出279,862千円等によるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年8月1日に連結子会社の株式会社FPデザインの全株式を譲渡したこと等を勘案し、2025年8月7日付け開示にて「未定」としておりましたが、2026年3月期の通期連結業績予想の数値を公表いたしました。

詳細につきましては、本日公表いたしました「特別利益の計上及び2026年3月期 通期連結業績予想の公表に関するお知らせ」をご覧ください。

なお、業績予想につきましては、現時点において当社が入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

## 2. 中間連結財務諸表及び主な注記

## (1) 中間連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流动資産		
現金及び預金	1,352,070	1,182,985
売掛金	272,856	284,771
営業貸付金	372,198	354,232
商品	258,853	186,710
原材料及び貯蔵品	30,367	30,365
リース債権及びリース投資資産	278,231	279,197
その他	175,348	141,654
貸倒引当金	△5,308	△5,429
流动資産合計	2,734,618	2,454,488
固定資産		
有形固定資産		
建物附属設備	114,233	106,434
減価償却累計額	△49,477	△45,775
建物附属設備(純額)	64,756	60,658
車両運搬具	14,716	14,014
減価償却累計額	△7,843	△8,859
車両運搬具(純額)	6,872	5,154
工具、器具及び備品	144,066	132,933
減価償却累計額	△109,852	△102,844
工具、器具及び備品(純額)	34,214	30,089
建設仮勘定	3,258	3,258
有形固定資産合計	109,101	99,161
無形固定資産		
ソフトウエア	40,772	32,849
ソフトウエア仮勘定	300	300
のれん	106,633	98,125
その他	941	778
無形固定資産合計	148,647	132,053
投資その他の資産		
繰延税金資産	98,815	74,225
その他	54,615	38,527
貸倒引当金	△3,599	△4,320
投資その他の資産合計	149,831	108,432
固定資産合計	407,580	339,647
資産合計	3,142,199	2,794,135

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
買掛金	6,365	7,844
短期借入金	905,764	855,817
1年内返済予定の長期借入金	443,799	340,964
未払金	94,815	96,310
未払費用	144,445	64,954
未払法人税等	22,822	27,566
未払消費税等	47,214	23,085
契約負債	24,771	30,181
預り金	332,942	399,365
貰与引当金	16,489	18,599
その他	7,695	7,728
<b>流動負債合計</b>	<b>2,047,126</b>	<b>1,872,418</b>
<b>固定負債</b>		
長期借入金	752,155	625,128
資産除去債務	21,182	21,221
繰延税金負債	1,926	2,440
<b>固定負債合計</b>	<b>775,264</b>	<b>648,789</b>
<b>負債合計</b>	<b>2,822,391</b>	<b>2,521,207</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
<b>資本金</b>	<b>551,265</b>	<b>551,265</b>
<b>資本剰余金</b>	<b>476,085</b>	<b>477,189</b>
<b>利益剰余金</b>	<b>△687,951</b>	<b>△739,118</b>
<b>自己株式</b>	<b>△20,002</b>	<b>△16,818</b>
<b>株主資本合計</b>	<b>319,397</b>	<b>272,517</b>
<b>新株予約権</b>	<b>411</b>	<b>411</b>
<b>純資産合計</b>	<b>319,808</b>	<b>272,928</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>3,142,199</b>	<b>2,794,135</b>

## (2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

(中間連結損益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
売上高	1,514,391	1,291,341
売上原価	608,993	503,258
売上総利益	905,398	788,082
販売費及び一般管理費	949,347	823,600
営業損失(△)	△43,948	△35,517
営業外収益		
受取利息及び配当金	224	907
受取保険金	436	—
受取手数料	—	1,150
その他	30	655
営業外収益合計	690	2,713
営業外費用		
支払利息	13,496	15,413
株式報酬費用消滅損	4,512	9,964
その他	46	234
営業外費用合計	18,054	25,611
経常損失(△)	△61,313	△58,416
特別利益		
事業譲渡益	13,726	—
子会社株式売却益	—	59,460
特別利益合計	13,726	59,460
特別損失		
固定資産除却損	0	—
事務所移転費用	—	3,263
特別損失合計	0	3,263
税金等調整前中間純損失(△)	△47,586	△2,219
法人税、住民税及び事業税	17,625	23,843
法人税等調整額	16,235	25,104
法人税等合計	33,860	48,947
中間純損失(△)	△81,446	△51,166
親会社株主に帰属する中間純損失(△)	△81,446	△51,166

## (中間連結包括利益計算書)

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純損失(△)	△81,446	△51,166
中間包括利益	△81,446	△51,166
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	△81,446	△51,166
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

## (3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前中間純損失(△)	△47,586	△2,219
減価償却費	29,710	20,628
のれん償却額	8,508	8,508
事業譲渡損益(△は益)	△13,726	—
子会社株式売却損益(△は益)	—	△59,460
貸倒引当金の増減額(△は減少)	561	841
賞与引当金の増減額(△は減少)	△609	2,109
受取利息及び受取配当金	△225	△907
支払利息	13,496	15,413
売上債権の増減額(△は増加)	△60,727	△34,367
リース債権及びリース投資資産の増減額(△は増加)	22,130	△966
営業貸付金の増減額(△は増加)	166,675	17,965
棚卸資産の増減額(△は増加)	66,507	72,144
仕入債務の増減額(△は減少)	△21,741	1,479
前払費用の増減額(△は増加)	△21,517	△3,649
未払金の増減額(△は減少)	△24,967	54,202
未払費用の増減額(△は減少)	17,694	△26,451
契約負債の増減額(△は減少)	△73	5,410
預り金の増減額(△は減少)	40,206	72,030
未払消費税等の増減額(△は減少)	△38,209	△14,606
その他	23,689	44,003
<b>小計</b>	<b>159,795</b>	<b>172,108</b>
利息及び配当金の受取額	224	905
利息の支払額	△14,019	△14,749
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△41,090	△12,697
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>104,910</b>	<b>145,567</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,800	△1,800
有形固定資産の取得による支出	△3,534	△3,341
無形固定資産の取得による支出	△9,579	—
事業譲渡による収入	193,962	—
敷金及び保証金の差入による支出	△11	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△34,530
その他	9,020	3,027
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>188,057</b>	<b>△36,645</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△193,272	△49,946
長期借入れによる収入	520,000	50,000
長期借入金の返済による支出	△291,739	△279,862
新株予約権の行使による株式の発行による収入	200	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	35,188	△279,808
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	328,156	△170,886
現金及び現金同等物の期首残高	1,300,691	1,321,767
<b>現金及び現金同等物の中間期末残高</b>	<b>1,628,848</b>	<b>1,150,880</b>

## (4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

## 【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間（自 2024年4月1日 至 2024年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	122,796	—	122,796	122,796
機材・消耗品	86,311	—	86,311	86,311
コンサルティング	178,330	—	178,330	178,330
請求代行	192,112	—	192,112	192,112
健康サポート	344,099	—	344,099	344,099
保険代理店	—	253,868	253,868	253,868
金融商品仲介業(IFA)	—	245,523	245,523	245,523
経営支援・手数料	—	64,210	64,210	64,210
顧客との契約から生じる収益	923,651	563,601	1,487,252	1,487,252
その他の収益 (注) 1	27,138	—	27,138	27,138
外部顧客への売上高 セグメント間の内部 売上高又は振替高	950,790	563,601	1,514,391	1,514,391
計	950,790	563,601	1,514,391	1,514,391
セグメント利益又はセグメント損失(△)	6,458	△50,406	△43,948	△43,948

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## II 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報  
(単位:千円)

	報告セグメント			中間連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ウェルネス事業	ファイナンシャル事業	計	
売上高				
ソフトウェア	101,951	—	101,951	101,951
機材・消耗品	133,849	—	133,849	133,849
コンサルティング	226,731	—	226,731	226,731
請求代行	195,149	—	195,149	195,149
健康サポート	228,919	—	228,919	228,919
保険代理店	—	250,189	250,189	250,189
金融商品仲介業(IFA)	—	58,051	58,051	58,051
経営支援・手数料	—	31,946	31,946	31,946
顧客との契約から生じる収益	886,601	340,187	1,226,789	1,226,789
その他の収益 (注) 1	64,551	—	64,551	64,551
外部顧客への売上高	951,153	340,187	1,291,341	1,291,341
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—
計	951,153	340,187	1,291,341	1,291,341
セグメント利益又はセグメント損失(△)	32,742	△68,259	△35,517	△35,517

(注) 1. その他の収益は、ソフトウェア及び機材・消耗品のリース取引によるものです。

2. セグメント利益又はセグメント損失(△)は、中間連結損益計算書の営業損失と一致しております。
3. 2025年8月1日付にて、株式会社FPデザインの保険代理店事業及び経営支援事業を完全子会社のFPデザイン株式会社に承継する連結子会社間の吸収分割によるグループ内再編を実施したうえで、金融商品仲介業(IFA)等を展開する株式会社FPデザインの株式の全てを譲渡いたしました。そのため、金融商品仲介業(IFA)は2025年4月から7月までの営業展開となっております。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

(譲渡制限付株式報酬としての自己株式の処分)

当社は、2025年10月16日開催の取締役会において、譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分（以下「本株式処分」）を行うことを決議し、以下の通り、2025年10月31日に処分手続きが完了いたしました。

本株式処分の概要

(1) 処分期日	2025年10月31日
(2) 処分する株式の種類及び総数	当社普通株式 1,700株
(3) 処分価額	1株につき1,438円
(4) 処分総額	2,444,600円
(5) 株式の割当ての対象者及びその人数並びに割当てる株式の数	当社の取締役を兼務しない執行役員 1名 1,100株 当社子会社の取締役 1名 600株